

# そうだ！ たまには野草探しでもしようかな

外国語学部 中国語学科3年 林日倩

## はじめに

地球上にはおよそ30万種類の植物が自生していて、日本だけでもおよそ7000種類の植物が自生している。その中で食べられる植物はさらに数が少ない。ここで、知らない植物について話してもつまらないので、身近にある植物について調べてきました。それは野草です。

## 冬の野草

というわけやって来ました。多摩川です。冬は野草があるの？ と思っているそのあなた！ あります！ 野草はどの季節にもたくさんあります！ 河原へ行く際、少し目を凝らして見れば、タンポポやシロツメクサ、ホトケノザなどを簡単に見つけることが出来ます。ぜひ見つけてみてください。

多摩川に入ろうとした手前、地面に木の实が落ちていて気が付きました。よく見れば、そ



れはどんぐりでした。小学生の頃はよく拾ってコマにして遊んだり、団子にして食べたりしていたのを思い出しました。懐かしいですね。そして、その近くを見ると銀杏も落ちていたことに気が付きました。大学では7号館



多摩川

の前が銀杏並木になっていますが、皆さん知っていますか？ ここだけの話、実は去年（2年生の頃）放課後に銀杏を拾っていました。直接銀杏を触ってなくても、手が銀杏臭に染められています。どんなに洗っても匂いが落ちません。皆さん、銀杏を取る際は二重の手袋をつけることを強くお勧めします。

こうして、どんぐりの広場を通り過ぎて、多摩川に入ると、川沿いにヒメジョオンが咲いているのを見つけました。調べてみると、ヒメジョオン



ヒメジョオン



ホトケノザ



ヒメオドリコソウ

の花期は6〜12月と書かれていました。ちょうど今の時期が開花期ですね。天ぷらにして食べるとおいしいらしいです。これと似た花で、ハルジオンがありますが、マニアックな人は葉のつけ根を見るだけで区別できるそうです。こうしてまたしばらく歩くと、ヒメオドリコソウを見つけました。近くにホトケノザも生きていました。この二つは似ていますが、葉のつけ方を見ればどっちがどっちかわかります。まさかここで春の七草に会えるとは思いませんでした。こんな身近で生えてい



ノゲシ

たのですね。残りの七草も見つけようと思いました。が、残念ながら見つけれませんでした。途中で、ヨモギも見つけました。葉先が赤くなっていました。他に、多摩川でクコの実を見つけたり、フキなどを見つけたりました。どちらも食べられます。こうして、日が暮れた頃に家に帰りました。帰り道にコンクリートの隙間からノゲシが生えているのを見かけました。ノゲシはゴマ和え、炒めものにして食べるとおいしいです。また、ドクダミも近くに生きていました。ドクダミはお茶にして飲むのが有名です。しかし、街中に生えている野草は排気ガスや犬猫のフンの心配があるので、なるべく取らないようにしたほうがいいです。

## 最後に

前で言った野草は全部食べられますが、ほとんどの野草は食べられません。多摩川では似ている毒草もありますので、摘む際は植物に関する知識や調理法を学んだうえで行ってください。また、「山野草を取らないでください」と書いてある看板のところや人家の近くは避けて採取してください。公園や川の堤防は除草剤や農薬が散布されている場合もあるので、確認してから採取するようにしましょう。野草を摘む際は全部取らず、少しずつ取るようにしましょう。野草の旬は短いです。本当においしく食べられる期間は2週間のもので、多い。以上の注意点を念頭に入れ、皆さんも今から旬の野草を取りに行きましょう！

## 参考文献

- ・ <http://matsue-hana.com/yasou/huyul.html>
- ・ 「うまい雑草、ヤバイ野草」 2011年 森昭彦
- ・ 「季節を味わう野草摘み」 2006年 西村文字